



屋久島ユースホステル

世界自然遺産 屋久島

ここにしかない 自然と文化を育む 島とゲストの架け橋を目指して

山々を神の住まう場所と敬う「山岳信仰」が根付き、
苔むした深く静かな森と、全てを洗い流してくれるような
豊かな水をたたえる屋久島。

この島を訪れた人は、自然に生かされていることに気づく。



テラスの目の前には、珊瑚が自生する美しい海が広がる。宿泊客同士でのバーベキューなども行われる。

本土から高速船やフェリーが乗り入れる宮之浦港から歩いて10分、宮之浦入口バス停から徒歩3分とアクセス抜群。近くにスーパーや飲食店、アウトドア用品のレンタルショップなどもあり、屋久島で過ごすために必要なもの全てが徒歩圏内で揃う。

DATA 屋久島ユースホステル

〒891-4205
鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦278-2
TEL:0997-49-1316
Email: yakushimayyh@gmail.com
URL: <http://www.hostel-yakushima.com>



人に作られた観光地ではない 屋久島の自然に魅せられて

一生のうち一度は訪れてみたいと多くの人が憧れる「屋久島」。1993年(平成5年)12月、日本で初めて世界自然遺産に登録された場所であり、推定樹齢約7200年と言われる縄文杉をはじめ、九州最高峰の宮之浦岳(標高1,936m)、映画「もののけ姫」の世界を彷彿とさせる白谷雲水峡など、自然の厳しさと豊かな恵みを同時に体感できる唯一無二の島だ。

周囲約130kmというコンパクトな島ながら、高低差が非常に大きいため、日本列島の自然が全て詰まっているとされている。亜熱帯植物が生い茂る海岸付近の平地から山頂に登っていくにつれ徐々に気温が低くなり、宮之浦岳付近では気温は6℃台と北海道並みの気候に変わる。高度を上げる毎に南から北へと変化していく植物の垂直分布は、世界でも評価されている。

そんな屋久島に渡邊マネージャーが初めて訪れたのは、なんと移住の時。実は、萌さんのほうが屋久島歴は先輩で、学生時代に当時初代オーナーが経営していたユースホステルのアルバイトとして屋久島を訪れている。ガイドの仕事、インドやネパールへの一人旅なども経験し、2016年7月に知人に誘われて徳島のゲストハウスのオープニングスタッフとして働き始めた際に、渡邊マネージャーと出会う。自然が好き2人は、萌さんの「屋久島っていいよ」のひと言をきっかけに同年9月に移住をしたのだそう。まだ訪れたことのない場所でのいきなりの移住生活に、不安はなかったのだろうか。

「僕の実家は六甲全山縦走*のコース沿いなんです。それに、父親が学生時代にユースホステルクラブに入っていて、母も日本の百名山を回るほど山が好きだったこともあり、子どもの頃から山は身近なものでした。山好きとして屋久島にも興味があったので、移住の時も不安より楽しみだと思ふ気持ちの方が大きかったですね」。

2人は屋久島のユースホステルにスタッフとして勤務。その後、島の玄関口である港に近い場所に旅の拠点が必要、という想いもあって現在の場所にユースホステルが移った後に、マネージャーとして

その業務を担うことになったのだ。釣りが好きな渡邊マネージャーにとって、目の前に海が広がる今の環境は最高だそう。移住から結婚、開業、そして2018年8月末に長男の蓮くんが誕生と、人生の転機を屋久島で次々と迎えている。

※六甲全山縦走…神戸市と六甲全山縦走市民の会の共催により、毎年11月に2回開催されるスポーツ大会。西は須磨から東は宝塚まで、六甲山系の屋根沿いに伸びるハイキングコース56kmを1日で歩き通す。

屋久島での暮らしが教えてくれた 人生の中で大切なこと

「子育てをするのにも、屋久島はすごくいい場所だと思います。自然がいっぱいだし、毎日いろんな方と触れ合う機会があるので、全然人見知りもしないんです」。萌さんの言葉通り、ユースホステルの談話室でも、地元の居酒屋さんでも物怖じせずに動き回り、周りから「蓮くん、蓮くん」と声をかけられる人気ぶり。周囲に見守られながらすくすくと成長している。

屋久島の自然は豊かな分、時に厳しい。けれど、だからこそ水遊びや山遊びをする中で、危険なことや気をつけるべきことを、身をもって学ぶことができるのだ。渡邊マネージャーは「危ないことが分からないままよりも、それを知っている方が、人生の中で得だと思う」と話す。

また、大人も屋久島で暮らすうちに、学び、変化していく。「屋久島には下水処理場がないので、廃水は共同浄化槽に流れ、そこから海へと排出されます。殺菌力の高い洗剤を使用すると微生物まで殺してしまうため、環境に優しい洗剤を使うなど、考え方も行動も変わりました。『コレは絶対にコレ!』というふうに決めてしまうと苦しくなるし、こだわり過ぎるとみんな不幸になるけど、意識しているだけで、日常も変わります」。

屋久島で、当たり前のようにそこにあるキレイな水と空気。だが、それはとても贅沢なことで、誇れることでもあるということ。島で育つ子どもたちに伝え、守っていくことが大切だと考えている。



屋久島ユースホステル
渡邊智マネージャー・萌さん夫妻・蓮くん

兵庫県出身の渡邊マネージャーと神奈川県出身の萌さん。「山も海もある」環境で育ったお二人は、自然の中で過ごすことが大好きだという。渡邊マネージャーは屋久島に来て、「人間よりも自然のほうが偉い」と実感したそう。移住して約3年間のうちに、結婚、開業、萌さんの出産と、人生の中で大きな変化を次々と迎え、忙しくも充実した時間を過ごしている。





縄文杉だけじゃない！ 豊かな水の恵みで心まで潤う

屋久島に来たら山や森だけでなく、海や川などもぜひ訪れてほしいという渡邊マネージャー。「月に35日雨が降る」と言われるほど雨が
多く、年間降水量も日本一のこの島では、円錐形の大地に降り注いだ雨が大小40あまりの川となって海へと流れていく。豊かな水量と美しい水質を誇り、ダイビングやリバーカヌー、SUP(スタンドアップパドル)や沢登りなど、水辺のアクティビティも充実している。

「山には一人で行けるけれど、水辺のアクティビティにはなかなか一人では行きづらい」「初めてなので少し不安」という方のために、屋久島ユースホステルでは屋久島公認ガイドでもある「マリクラブカイオロヒア」と提携し、宿泊者だけの特別割引価格で「一日水遊び」「体験ダイビング」の紹介を行っている。初心者向けのコースで一人でも気軽に参加でき、少人数制なのでダイビングやリバーカヌー未経験の方も安心だ。



料金にはガイド料、機材一式レンタル料、傷害保険料、ユースホステルからポイント間の送迎全てが含まれている。3月から11月までは毎日開催しており、空きがあればチェックイン時の予約も可能なので、思い立ったときに水遊びを体験できるのも嬉しい。現在新しいアクティビティへの参加も計画中とのことで、これからますます楽しみが増えそうだ。

- 一日水遊びコース
通常17,500円 ▶ 15,000円
- 体験ダイビング(半日)
通常10,500円 ▶ 9,500円

※飛行機でお帰りの日は参加不可(船便は可)。※12歳以上から参加可能。
※循環器・呼吸器・耳鼻咽喉系の持病(高血圧含む)をお持ちの方は不可。

マリクラブカイオロヒア

鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦1940-6 TEL:0997-42-2021
Email:kaiolohia@divers.ne.jp URL: http://kaiolohia.com/



住んでいるからこそ分かる 最新の屋久島情報をお届け

人の手の入らない、自然そのままを味わえる屋久島。その分、台風や豪雨など自然の脅威への不安を感じる方もいるかもしれない。しかしそんなときこそ、自分たちを頼りにしてほしいと渡邊マネージャーは言う。「今は情報があすぎて、何が本当なのか分からないこともあると思います。豪雨で山の一部が通行止めになったり、台風が来たりして、TVやネットでニュースが流れると、みんなそれぞれ意識しがちですが、実は楽しめる場所もたくさんあるんです。僕は地域の方とも積極的にコミュニケーションをとって情報収集を行っているので、宿泊客の方の的確な観光案内ができます」。どのルートなら山に入れるのか、登れないときはどんな道でし方ができるのかなど、細やかに正確な情報を提供している。さらに、Facebookには島民のコミュニティがあり、いつも情報を交換しているそう。島内のクジラウォッチングのポイントに、『今日来てよ!』という島民ならではの情報が入ることも。事前の問い合わせも大歓迎なので、ぜひ上手に利用してほしい。

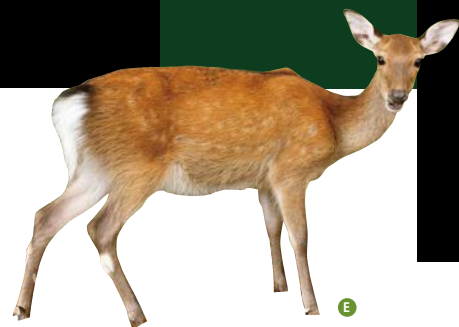


また、今までに世界70ヶ国からゲストを迎え、海外からの宿泊客が7割を占める屋久島ユースホステルでは、国際交流が盛んなことも特徴のひとつ。大自然を満喫した後は、さまざまな国の人と交流しながら音楽を奏で、近海で獲れた新鮮な魚介類やジビエでバーベキューをして、地元の芋焼酎「三岳」を味わう。都会では経験できない、本物の贅沢な時間を過ごせる場所だ。



- ① 2段ベッド式和洋室(約10畳相当)の客室は全5室。男女別の相部屋で、3名以上の使用であれば個室対応も可能。2段ベッドにはそれぞれのスペースにライト

とコンセント、ロッカーが設置され、ロッカー用の鍵は受付で販売している(200円)。② 宿泊客は、屋久島産の芋焼酎「三岳」を1杯100円で楽しめる。③ バス・トイレは共同。水の豊富な屋久島だけあって、シャワーの水圧も強力!④ 談話室には、自宅のようにくつろげる畳スペースと、渡邊マネージャー手作りの一枚板のテーブルスペースが。





渡邊マネージャーの近隣おすすめスポット

登山前の安全祈願に訪れたいのが、屋久島の中では縄文杉に続くパワースポットとして人気の益救神社(やくじんじや)。宮之浦岳山頂と同じ山の神「彦火火出見尊(ひこほほでみのみこと)」が祀られている。続いては、屋久島の自然や文化について、模型や映像で分かりやすく紹介してくれる屋久島環境文化村センターへ。屋久島に関する書籍やグッズ、お土産品なども豊富に揃う。シメは店主自らが獲ってきた新鮮な魚介や屋久島名産の焼酎が味わえる、地元の人にも人気の居酒屋「さっちゃん」。インパクト大のトビウオの姿揚げや、流通の少ないヤコウ貝はぜひ味わってほしい。

A 益救神社(やくじんじや)

鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦字水洗尻277
TEL:0997-42-0907

▼タンカンソーワ / 600円 C

B 屋久島環境文化村センター

鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦823-1
TEL:0997-42-2900
営業時間:9:00~17:00(展示ホールへの入場は16:30まで)
休館日:毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、
年末及び元旦(12月28日~1月1日)
※7月20日~8月は休まず開館
URL: <http://www.yakushima.or.jp/>

C お食事処 さっちゃん

鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦196-1 TEL:0997-42-0203
定休日:日曜日
営業時間:18:00~23:00(ラストオーダー22:30)



▲トビウオの姿揚げ / 500円 C

◀地魚ツケ盛丼 / 1,200円 C



レンタカーで行く広域おすすめスポット

まずは海に面した洞窟の中に本殿がある「八幡嶽神社」へ。洞窟の中に入った猫が種子島の熊野神社から出てきたという伝説を持ち、近くにはダイビングスポットとして夏場に多くの観光客で賑わう一湊海水浴場がある。次は人気のドライブコース「西部林道」。島内で唯一車が入れる世界遺産登録地域であり、屋久島のみで生息するヤクシカ、ヤクザルの群れと出会うことができる。車が近づいても全く動かないため、ゆっくり走行しよう。屋久島で最大の規模を誇る「大川の滝」は、日本の滝百選にも選定されている。轟音を立てながら88mの落差を流れ落ちる様は迫力満点で、特に水量の増える雨上がりのダイナミックさは必見。滝壺の近くまで歩けるので、水しぶきを浴びながら間近でその姿を眺めたい。そして、一度はその姿を見たいと願う人も多い「縄文杉」。樹高25.3m、胸高周囲16.4m、推定樹齢約7200年という日本最大・最長寿を誇るその姿は圧巻。ルート途中ではトロッコ軌道の鉄橋やウィルソン株、翁杉、三代杉、大王杉、夫婦杉などが楽しめる。

D 八幡嶽神社(やはすだけじんじや)

鹿児島県熊毛郡屋久島町一湊字八幡山2292

E 西部林道

鹿児島県熊毛郡屋久島町(永田岬~大川の滝間約20kmにわたる林道)

TEL:0997-43-5900(屋久島町商工観光課)

通行可能な時間:7:00~17:00(夜間は通行不可)

通行規制に関する問い合わせ先:鹿児島県熊毛支庁屋久島事務所

総務企画課:0997-46-2211 建設課:0997-46-2213

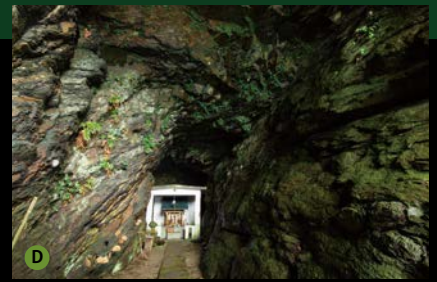
※時間雨量が20mmまたは連続雨量が80mm以上を観測した場合は通行止めとなります。

F 大川の滝(おおこのたき)

鹿児島県熊毛郡屋久島町栗生 TEL:0997-43-5900(屋久島町商工観光課)

G 縄文杉

鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦 TEL:0997-43-5900(屋久島町商工観光課)



屋久島ユースホステル
宿泊券

抽選で2名様に
プレゼント!

ご応募は日本ユースホステル協会ホームページの
専用お申込みフォームから!

<http://www.jyh.or.jp/hm/>

応募締切 2019年11月末日

※なお、当選発表は、商品の発送を以てかえさせていただきます。



つづきをダウンロード(無料)



Hostelling Magazine vol.18
まとめてダウンロード



Sustainable Tourism P20



インタビュー P02
コムアイ (水曜日のカンパネラ)
「迷惑をかける勇気」が、
旅をもっと楽しくする。



教えて! 旅GIRL P22



Youth Hostel Pick up P08
世界自然遺産 屋久島
ここにしかない自然と文化を育む
島とゲストの架け橋を目指して
屋久島ユースホステル



松島むうの晴れときどき旅びより..... P23



Hostelling Magazine × 地球の歩き方... P12
今後、見られなくなる可能性あり
今すぐ行きたい世界の絶景
■近い将来、遺跡と化するであろう「死に行く町」
■コロナ禍な街並みを、クラシックカーが駆け抜ける
■世界最大のサンゴ礁群に忍び寄る危機的状況
■ここ50年で形が激変! 死海の今
■100年で1km以上も! 衝撃的なアルプスの氷河の後退
■遺跡背後の山を登り、絶景の展望台へ
■世界から抜粋! おもしろユースホステル

発行所: 一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島眞
〒151-0052東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内
印刷・製本: サンメッセ株式会社
※本誌の情報は2019年9月20日現在のものです。
変更になる場合がありますので、お出かけになる前に現地にお確かめください。
※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。